委 員 会 会 議 録

会 議 名	平成２４年度　第４回　安全対策小委員会（エコセフ）
開催日時	平成２４年５月２８日（月）１１：００～１２：０５
開催場所	滋賀県トラック総合会館
出 席 者	委員９人　担当副会長１人、クレフィール担当者１人、事務局３人

協　　議　　内　　容

　開会にあたり、田中副会長から先日のエコセーフティドライブコンテスト実施における運営お礼を含めた挨拶が行われた。
　続いて西田委員長より挨拶があり、その後、宮津小委員長が挨拶され、宮津小委員長が議事進行役となり議題審議に入った。

議　題
（１）ドラコン推薦について
　先日のエコ・セーフティドライブコンテストの結果に基づき、協議の結果、それぞれの部門１位を全国トラックドライバーコンテストの出場者として推薦することとなった。また、今回は女性が１名出場しており、その該当者も全国大会の女性部門への出場者として推薦することになった。
　この３名の推薦決定を受けて、事務局は３名の無事故調査をそれぞれの所属事業所へ確認（記録証明取得）することとなった。

（２）マイスター・ゴールドマイスター確定について
　先日のエコ・セーフティドライブコンテストの結果に基づき、４ｔ部門でマイスター１４名、ゴールドマイスター０名、１１ｔ部門でマイスター２６名、ゴールドマイスター１名が決定したことが確認された。
　尚、マイスターは各協議種目の６０％以上、ゴールドマイスターは同じく８０％以上の得点取得が求めらている。
　この決定を受けて、参加者全員へその結果を早々に送付することとなった。
　また、各社より自社所属参加者の点数照会があれば伝えることとするが、他社参加者の情報については部外秘として伝えないことに決定した。

（３）反省点
①参加者呼び出しの際、名簿にフリガナが全ての参加者についていなかったことから、フリガナ表記の徹底を行うべき。
②参加申込者が多く、例年より早い段階で締め切りとなった。早い者勝ちで大会実施するのもどうかと思うので、締め切り期日まで待ってから、複数参加者を擁する事業者へは人数調整を行って、少しでも多くの事業者が参加できるような配慮も必要ではないか。
③参加者へ、何が間違っていたのかがわかるよう、正答をフィードバックする必要があるのではないか。特に学科においては今後の為にも重要である。
④どのような方法で競技を行うのか、事前説明があっても良いのでは。また、学科については問題の傾向の説明があっても良い。
⑤各競技の注意事項は、口頭説明でなく、注意事項を記載した紙配布の方が良い。
⑥担当役員へのトランシーバー配布方法を、誰が持っているのかを踏まえた共通認識を含めて、役員集合時間たる朝一番に行う方が良い。
⑦昼食時の飲み物（お茶）が足りなかった。また、昼食を取る場所が不足した。点検競技役員は選手と同様に東館で昼食を取っても良かったのではないか。
⑧点検競技のスタッフ（各トラックディーラーの応援人員等）への役員名刺ホルダー（首かけ）の配布徹底。同競技におけるスタッフ待機場所の設定が必要。

⑨開会式が想定より長引いた。来賓挨拶を失礼にならないように３分以内で依頼する。
⑩名刺ホルダー（首かけ）の名刺を、濃い色（はっきりした色）で作成する。
⑪大会の少し前に大会参加者対象とする講習会を実施してはどうか。またそのニーズがあるようであれば、ドライバー研修会を担当している人材開発委員会へ依頼してはどうか。
⑫点検競技担当の役員が途中で帰ってしまい、残った人員で担当していた。このようなことを想定した担当役員の増員が必要。
⑬担当役員での朝礼をもう少し充実したものにしたほうが良い。また、終礼の実施も行う。
⑭開会式で、クレフィール湖東の石井所長の席がなかった。また、開会式会場の入り口ドアが開きっぱなしであった。さらに、来賓接受がスムーズではなかった。
⑮模範演技においてその説明を行う際に使用するマイクがなかった。
⑯クレフィール湖東スタッフが昼食を食べる時間がなかった。
⑰点検競技に使用する備品（手板・鉛筆等）の予備配置。
⑱エコ競技においては、その実施時間の問題から、各部門（４ｔ、１１ｔ）のバランスを検討する必要もある。例えば、それぞれの部門定員の設定。
⑲学科以外の全ての競技が屋外であり、雨天時の対応を想定する必要がある。
⑳学科競技終了時における参加者の動線を検証する必要がある。

（４）その他
マイスター認定証は例年通り作成し、配布する。昨年まで認定シールも配布していたが、認定は個人に対して行うものであるので、トラックに貼るシールはその主意に合致しない。このことから、今年度は違うものを検討する。
どのような物とするかは、事務局一任となった。

以上にて協議事項がすべて終了し、本小委員会は終了した。
尚、次回委員会は設定されず、本小委員会は今回で終了となった。